

市政に対する一般質問

庭木のせん定枝をチップ化し資源循環型社会の推進を

あやせ市民会議 青柳 慎

問 市では、「人と自然がふれあう環境共生のまち」を目指している中、現在、家庭から出される葉やせん定枝を燃えるごみとして処理しているが、ごみの減量化、焼却時に発生するダイオキシン問題、さらに毎年増え続けている高座清掃施設組合への運営費分担金のことを考えると、今後は、せん定枝等を燃えるごみとして扱うのではなく、美化センター内に破砕機を設置し、チップ化して再利用することで、市民に真の資源循環型社会を実感してもらう必要があると考えるがどうか。

答 市では、ごみの減量化と資源化のために市民の協力を得ながら、資源化分別収集事業を推進するとともに、一層の資源のリサイクルに努めている。御指摘のとおり、家庭から出される葉やせん定枝は、現在、燃えるごみとして高座清掃施設組合に搬入し、焼却処理をしている。庭木のせん定枝は、破砕機を導入することで、チップ化やたい肥へのリサイクルが可能であるが、たい肥化については悪臭対策に多額の経費が見込まれ、またチップ等の再生品の需

要が未知数であるため、これらの状況を見極めた中で十分研究していく。(他に「大型公園整備について」「市役所前高圧線地中化について」を質問)

交通安全上で問題となっている点は早期改善しないか

あやせ市民会議 増田淳一郎

問 来春、大型商業施設の開業が予定されており、多くの来店者による交通渋滞が予想される。渋滞解消のため、市民文化センター西側駐車場の北側に出口を設け、帰宅車両を農道に迂回させたり、光綾公園のT字路に右折車線を設置しないか。また、市民の交通安全のため、蓼川の東名にかかる橋への歩道橋の設置や、寺尾のパワーセンター付近の歩道中央に立つ電柱の移設はできないか。小・中学校では、事故から身を守るだけでなく、自転車歩行者を死亡させてしまった場合の補償等まで含めた交通安全教育をしているのか。

答 市民文化センター西側駐車場の北側出入口は、いろいろな条件があるが、開放に向けて調整していきたい。光綾公園横の交差点については、渋滞解消のため改善すべき場所と認識している。また、蓼川の大和七号橋は大和市の管轄であり、歩

道橋の設置を要望・協議しているが思うように進んでいない現状であり、寺尾の歩道の電柱については、県道のため県へ移設の申し入れをしたい。小・中学校では、自転車乗車中は事故の加害者にも被害者にもなり得ることを自覚して、責任感を持って行動するように指導している。(他に「地域活性化インターについて」を質問)



市の鳥「かわせみ」

行政改革の一環として市長公用車を見直す考えは

みらい政策会議 安藤多恵子

問 行政改革を推進する上で、職員にはさまざまな痛みがあると思うが、市長自身にも痛みが必要ではないか。市長自身率先行動により、職員の心をまとめていくことにもなる。市長公用車廃止の動きは全国各地で起こっており、埼玉県志木市では、普通の公用車を職員又は職員の仕事を肩代わりしている行政パートナーと

呼ばれる市民が運転している。本市でも市長公用車を見直す考えはないか。また、年間の維持費と運転業務のないときの運転手の仕事は。

答 市長としての公務は、市行政の多岐に渡るほか、全国基地対策協議会の副会長や防衛施設周辺整備全国協議会の理事など全国的な組織の職務を兼ねており、広域的に活動している。そのため、日々の公務を迅速かつ効率的に遂行する上からも、引き続き市長公用車を使用していく。また、年間の維持費は、運転手の人件費、ガソリン代、車検等の費用及び保険料の総額で約九百二十万円である。なお、運転手は、市長が議会等に出席し外出しないときは、基本的に秘書課の事務を行っている。(他に「環境都市として更なる前進について」「市役所、公共施設の弾力的運用、使用について」「部活動のあり方について」を質問)



6月28日、綾瀬小学校の4年生101人が議場を見学し、初めて入る議場で議会の構成や役割について一生懸命勉強しました

城山公園のトイレ増設と遊具の管理体制の状況は

あやせ市民会議 中野 昌幸

問 平成十三年の開園以来、多くの市民の憩いの場となっている城山公園は、六万五千平方メートルの面積を有するが、園内にトイレは四カ所しかない。小さな子どもにはトイレが遠くて間に合わないこともある

ため、特に子ども達に人気のローラーイスライダーのある遊具広場にもトイレを早急に設置してはどうか。本年四月に起きた大阪府高槻市の回転遊具の事故を受けて、本市ではどのように対応したのか。新聞紙上によると、遊具管理の認識が各自自治体に浸透していない実態が浮かび上がり、

危機管理意識の低さを指摘しているが、本市の現状と対応はどうか。

答 城山公園のトイレは、利便性を条件に検討したが、各エリアのスペースに限りがあることなどから現在の位置にした。遊びに夢中な小さな子どもには遊具広場からトイレは遠いと考えられるので、直ちに実態を調査し、解決を図る。遊具については、高槻市の事故を踏まえて、直ちに緊急点検を行った。なお、日ごろから職員だけでなく、利用者等の通報をもとに監視をしており、一点検については、年二回実施している。今後は、市独自のマニュアルを作成し、一層の安全確保に努める。(他に「綾瀬市開発行為に関する指導要綱について」を質問)



毎年、綾南公園の蓼川沿いには、夏を前に色とりどりの紫陽花が咲き乱れます。新緑とのコントラストが、緑豊かな綾瀬をいっそう際立たせます

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をただすことができるものです。6月定例会では、6月15日・16日の本会議で14人の議員から質問が行われ、終始熱の入った論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、4面まで続きます)。